

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	新しい伊豆松崎での過ごし方プロデュースのしくみづくり事業
対象地域	静岡県松崎町
活動概要	<p>本事業の舞台である松崎町は伊豆半島西海岸に面しており、山・海・温泉など豊かな観光資源に恵まれた観光業を基幹産業としたまちである。特に宿泊施設は約90%が民宿であり、コミュニティ経済の核はまさに民宿経営であると言える。</p> <p>しかし、人口減少、民宿経営者の高齢化や後継者不足、観光ニーズの変化等により廃業する民宿が増加しており、コミュニティ経済の核である民宿が衰退することにより、同時に地域コミュニティが衰退していく状況にある。まさに「民宿の危機は集落の危機」である。</p> <p>ただし、この危機を脱するために何も対策を講じてこなかったわけではなく、耕作放棄地であった棚田をオーナー制度を活用して復活させたり、漁村体験型の修学旅行を受け入れるなど様々な取組みを行い、一定の評価・成果が上がってきた。</p> <p>だが、これらの取組みを支えてきた公的機関の統廃合等により取組みを継続できない状況になっているため、地域を総合的にプロデュースする体制・しくみづくりが急務となり、今後も取組みを継続・発展させ、地域コミュニティを再生していく必要がある。</p>
今年度の主な取組	<p>①地域外組織との連携による地域プロデュースのしくみづくり 地域内外の関係団体等の連携により、地域プロデュースの体制を構築し、各地域の取組みを活用した過ごし方メニューの開発、総合的なPRツールの制作、総合的な情報発信やセールスプロモーションを検討する。</p> <p>②ニュースタイル民宿の確立に向けた可能性調査と計画づくり 民宿経営者等へアンケート調査を実施することにより民宿の現状と展望を把握し、同時に長期滞在等に向けた民宿改修案を作成する。この結果をもって定期来訪者や長期滞在者等を受け入れていくための今後の民宿のあり方や展開を検討する。</p>

活動結果	<p>公的機関の統廃合等により取組みが休止状態であった修学旅行の受入体制が整い、今後も継続して活動していく目処が立ち、地域コミュニティの核である民宿の衰退に歯止めをかけることができた。</p> <p>さらに多様な主体で構成する協議会を組織できたことにより、各主体の特徴を活かしつつ地域コミュニティの再生に向けた様々な取組みを実施していける体制が構築された。特に町全体の観光を統括する町観光協会が協議会に参画したことにより、本事業を他の地区へ拡大することが可能となった。</p> <p>また、民宿の現状や課題、今後の展望を把握できたことは、今後、事業を展開していく上で非常に大きな役割を果たす。</p>
当初予想していなかった効果	<p>地域プロデュースのしくみの中に地域外の民間企業を組み込んだことにより、地域プロデュースや対外的なアプローチに関するノウハウが導入され、予想以上の効果(H21年度修学旅行予約:5件・692人、仮予約件数:3件・438名)が早くも現れている。</p>
実施状況(写真)	<div data-bbox="726 898 1177 1223" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="852 1234 1062 1272">協議会の状況</p>
応募団体名	特定非営利活動法人 エヌ・ピー・オー伊豆
リンク	<a href="http://www.npo-izu.jp/">http://www.npo-izu.jp/</a>
部局/担当者名	専務理事 田中孝治
連絡先	054-273-8041 info@npo-izu.jp
推薦市町村名	静岡県松崎町